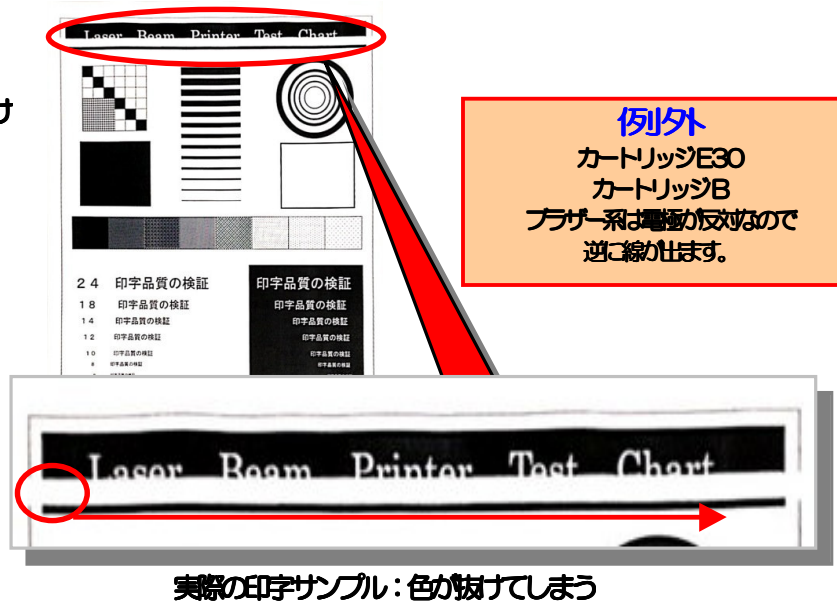
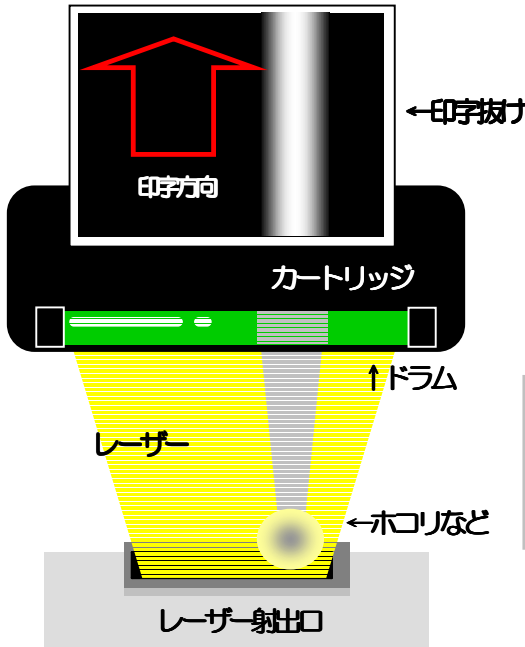


プリンタのスキャン部やレーザー射出口やトナー受光口が汚れていると…

レーザープリンタは例外なくレーザー射出口が付いています。その射出口からカートリッジへのレーザー光線が阻害物があると印字が抜けます。カートリッジ着脱時に静電気等でレーザー光入口付近に異物・汚れが付着する事で発生します。その場合その場で除去可能なケースが多いですが、プリンタ側のレーザー射出口が汚れている場合は、カートリッジを交換しても**阻害物を除去しない限り印字汚れが出続けます。**

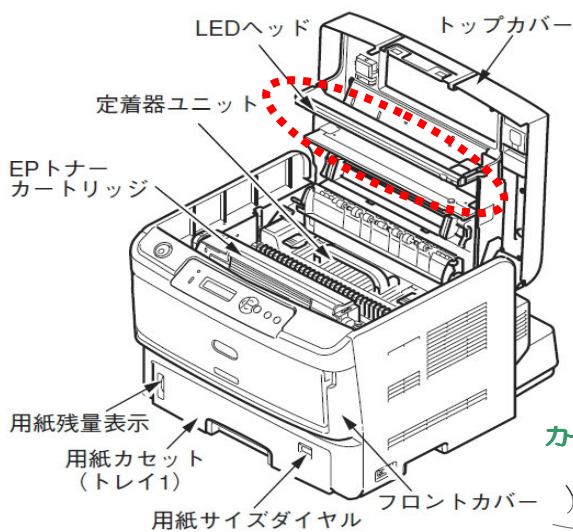


プリンタのレーザー射出口の位置

レーザー射出口の位置はメーカーやプリンタ型番によって異なります。カートリッジ交換時に射出口が剥き出しになる機種ほどレーザー光阻害のリスクが高くなります。逆ユーザーからは位置が全く確認出来ないプリンタもありますが、レーザー光阻害のリスクは低くなります。

レーザー射出口は必ずドラムと付近にあり、殆どが透明ガラスで覆われています。

トップカバーに付いて射出口が突出しているタイプ



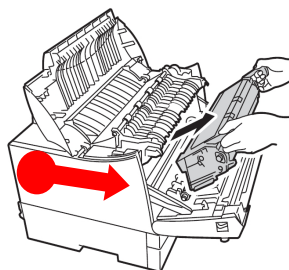
危険度 ★★★★★

代表機種

C710系・V730・LB107・108・OK系

※この系統に射出口汚れが非常に多く
マニュアルに清掃の方法が掲載されています

奥から手前へレーザーを射出するタイプ

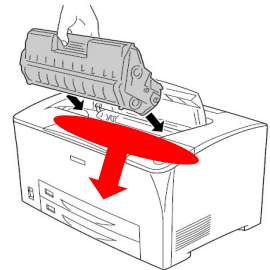


代表機種

PR1230系・タイプ5/70/700

危険度 ★

上部から下にレーザーを射出するタイプ

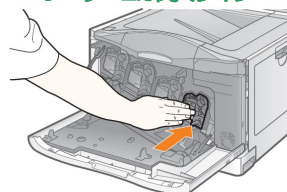


代表機種

LP7900系・6100系・509系

危険度 ★

カートリッジ取り付けと連動してレーザー口が開くタイプ



代表機種

カートリッジ322・カートリッジ318

プリンタ側原因では発生しない

対処方法

乾いた柔らかい布で射出口を拭きます。
エアダスターがあればより安全に確実に
汚れを除去出来ます。

射出口の共通の造りとして
透明ガラス状になっています。中には
キャノンの一部のカラー機のように
外側からは見えない機種の物も
あります。それらの機種で阻害が
発生した場合はトナー側に原因がある
場合があります。

カートリッジの受光部の例



カートリッジ側の異物のレーザー光阻害は比較的
表面に近い部分の付着が殆どです。

その場合はカートリッジを交換しなくても
除去すれば改善します。

主要機種種のレーザー受光口

